

令和6年度 宮崎工業高等学校 定時制 学校関係者評価

1 教育目標

校訓「努力」・「誠実」・「創意」の具現化を図り、豊かな人間性と礼節を身につけ、健康でたくましい身体をつくるとともに、専門的知識・技術の基礎・基本を習得した、科学技術の高度化や技術革新に対応できる工業人材を育成する。

2 教育方針

(1)本県工業高校のフラッグシップ校として、その伝統や校風を継承するとともに、科学技術の高度化や技術革新に対応できる実践的な知識と技術を身に付けた、地域社会に貢献できる工業人材を育成します。

(2)校訓「努力・誠実・創意」のもと、学習活動や部活動を通して確かな学力と礼節を身に付けた心身共に健康でたくましい、次世代を担う気概溢れる人材を育成する教育を目指します。

(3)個に応じた学びなおしの学習支援と、多様な社会を生き抜く力を育む教育課程を編成するとともに、就業体験を通して自己有用感を高め、自己実現を図る教育を推進します。

3 スローガン

「宮工PRIDE 夢実現!」

重点目標	自己評価	関係者評価
1 豊かな人間性の醸成	2.85	3.20
2 確かな学力の育成	2.86	2.80
3 キャリア教育の推進	2.82	3.00
4 モノづくり教育の充実	2.93	3.20
		総合評価
		2.96

評価委員による学校への意見・要望等

自己実現に向けて、限られた時間の中で、一生懸命高校課程を学ぶ姿にご支援を引き続き宜しくお願いいたします。

全日制の評価でも記載をいたしましたが、評価項目と取組施策の連鎖が解る様に次年度はお願い申し上げます。

様々な取り組みがなされていること、先生方のご尽力に頭が下がる思いをしています。学校教育の在り方が、変化してくる中で、どのように人間的成長を図っていくか。学校内で言えば、対話（生徒同士、先生と生徒など）と読書、そして学校外との関係づくりにあると思っています。それらの取り組みに、限られた時間の中で取り組んでおられることが分かりました。

中途退学者について、対応策として退学を決めて報告にくるので事前に相談するように生徒に伝えるとありましたが、これは是非進めて頂ければと思います。企業でも周りに相談することをせず、一人で悩んで転職先を決めて退職の相談にくるというパターンがあります。事前に相談してもらえれば、部署異動や配慮することもできたのに…ということもありますので、周りに相談することを恐れずに声をあげることができる人材を育てて頂ければ、社会に出たときに本人にとってもよいと思います。これまでなかったオンラインシステムの導入を検討されているなどの取組にも今後、期待を寄せております